

# ししは 読み せん 県道 白浜南風見線



沖縄県 八重山土木事務所

# IRIOMOTE IS.

島間島



西表島は、日本最南端の町・竹富町に属し、石垣島の西方約30kmに位置しています。

沖縄県内では、本島の次に大きな島であり、その90%が亜熱帯性のジャングルに覆われているのが特徴です。

大小無数の河口域に広大なマングローブ林があり、周りを明らかな珊瑚礁で囲まれているこの島は、『21世紀に残したい日本の自然100選』に選ばれました。年間約20万人の観光客が訪れ、この雄大な自然との出逢いを楽しんでいます。

## 八重山諸島



# 秘境・西表島に棲む生きものたち

## リュウキウイノシシ

西表島に生息する動物の中で最も大型の哺乳類だが、体つきは本土のイノシシよりもひとまわり小さい。



## アカシヨウベン

初夏から秋にかけて県内に渡来する、西表島の代表的な夏鳥。太くて赤いクチバシが特徴。竹富町の町鳥。



**キンバト** (国指定天然記念物)  
日本では八重山諸島のみが生息する留鳥。全長25cm。体色は派手だが、亜熱帯樹林中では周りに溶け込んで見分けにくい。



**アサヒナキマダガラセリ** (国指定天然記念物)  
西表島と石垣島の固有種で、中国大陸と陸続きの頃侵入してきたと考えられており、「生きた化石」と呼ばれる。

**ヤマルハコガメ** (国指定天然記念物)  
八重山諸島や台湾・中国に分布する陸生のガメで、甲長13~16cm。背甲は丸く高く、腹甲は真中から前後に折れ曲がり、完全に蓋を閉じることから「背丸箱亀」という和名が付いた。



**カンクリワシ** (国指定特別天然記念物)  
西表島と石垣島に生息が確認されている、全長55cmで沖縄県最大の猛禽類。翼広すと後頭部の長い羽毛を冠状に逆立てるのが特徴。

**イリオモテヤマネコ** (国指定特別天然記念物)  
世界中で西表島にのみ分布する。おもに夜行性で木登りや泳ぎが巧みである。形態学的にきわめて原始的なネコ科動物で、潜水して魚を捕らえるなど特異な行動をする。天然記念物として保護されているが、近年交通事故による被害報告が後を絶たない。



**キシノウエトカゲ** (国指定天然記念物)  
体長40cmに達する日本産では最大のトカゲで、宮古・八重山諸島に分布する特産種。体が大きいので、ハビと見間違えるほどである。



**コノハチヨウ** (国指定天然記念物)  
翅の裏が紅葉模様で、擬態の好例として有名。しかし翅の表は亜熱帯の蝶らしい派手な色彩が特徴である。



**オオゴダウ**  
日本産の蝶類の中で最も大型の部類に属する。蛹は美しい真金色で、成虫は非常にゆつくりと飛ぶところが特徴。

## ヤエヤマオコウモリ

前腕長10~14cm、頭胴長18~22.5cmにも達する大型のコウモリ。洞窟には生息せず、ジャングル奥の奥深い谷間に潜んでいる。



# 白浜南風見線(エコロード)の概要

西表島唯一の幹線道路である白浜南風見線では、近年における観光客の増加や生活圏の拡大に伴って、貴重な野生動物の交通事故死が激増しています。

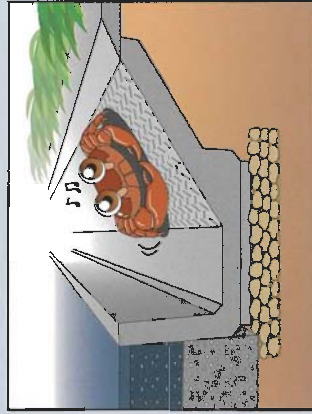
わたしたちは、この問題の解決と、人と自然のよりよい共存のために、野生動物の保護を目的とした道路環境の改善・整備を進めています。



## 小動物横断兼用ボックス

盛土部において、小動物横断用の通路と水路の機能を兼ねたボックスカルバートの整備。

上：施工前のイメージイラスト  
下：施工後の利用状況写真(イリオモテヤマネコ機中)



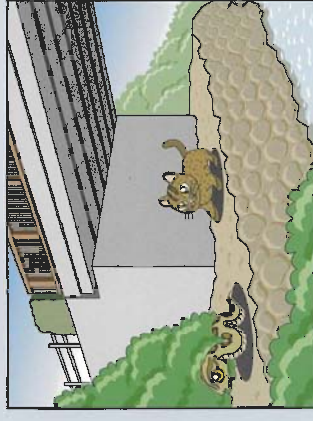
## 片勾配側溝

小動物の道路への侵入を防止すると同時に、側溝からの脱出容易にする側溝の整備。

# 「エコロード」とは？

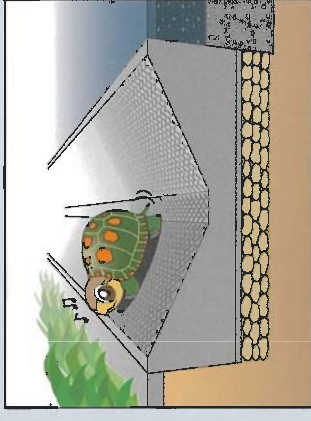
生態系に配慮し、環境に対する影響を極力減らすべく設計された道路を指し、生態学(ecology)の「エコ」と、道路(road)の「ロード」を組み合わせた造語です。

この白浜南風見線では、エコロードとしての「自然にやさしい」配慮が随所になされる予定であり、西表島の貴重な自然を保全し、亜熱帯の自然環境と調和した道づくりを目指しています。



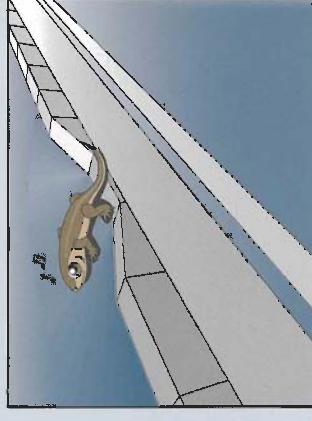
## 小動物道路

小動物の橋下の横断を容易にするために、橋台前面に小動物専用の通路を整備。



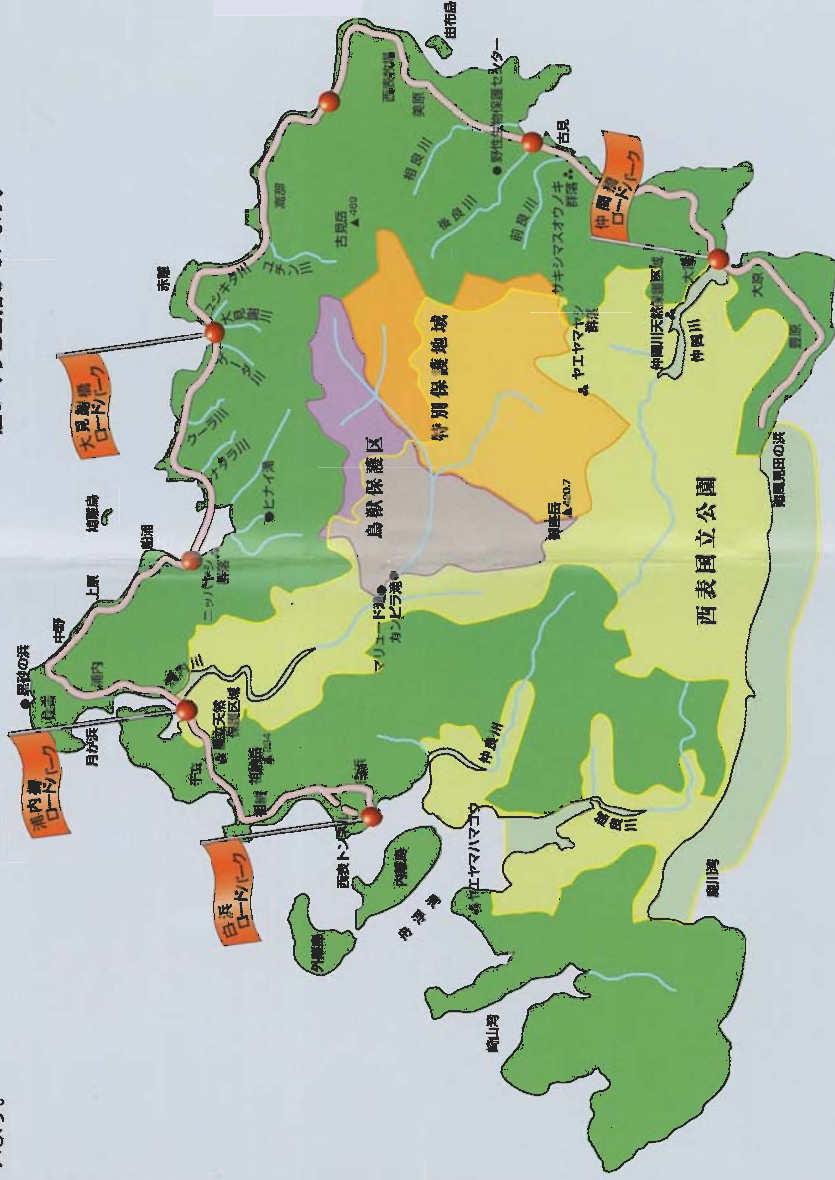
## 幅広側溝

小動物が側溝へ転落しても、簡単に這い出せることを可能にした緩勾配側溝の整備。



## 小動物乗入口

車道へ出てしまった小動物を、安全な歩道へ移動させるためのスロープの整備。



(●印は、ロードパークの位置を示します。)

ロードパーク — 人と自然のふれあひ空間



白浜ロードパーク



浦内ロードパーク



大見越ロードパーク



仲間橋ロードパーク

# ふるさと愛橋ロード



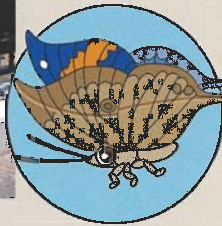
## ナダラ橋

天然記念物セマルハコガメの甲羅をイメージした親柱。



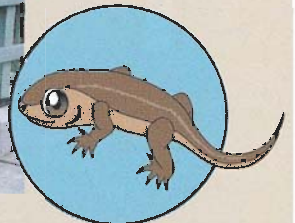
## クーラ橋

村落周辺でよく見かけるヤエヤマオコウモリの飛来する姿をデザインした親柱。



## 西ゲータ橋

天然記念物コノハチョウのもつ特徴的な翅をイメージした親柱。



## ゲータ橋

天然記念物キシノウエトカゲが岩の上に佇む姿を彫刻した親柱。



## 大見謝橋

蝶の多い地域特性に因んで、蝶のシルエットを抽象的にデザインした親柱。



## ユシキダ橋

真っ赤なクチバシが特徴的なアカショウビンをレリーフであらわした親柱。



## ユチン橋

天然記念物イリオモテヤマネコの攻撃姿勢を、抽象的にデザインした親柱。

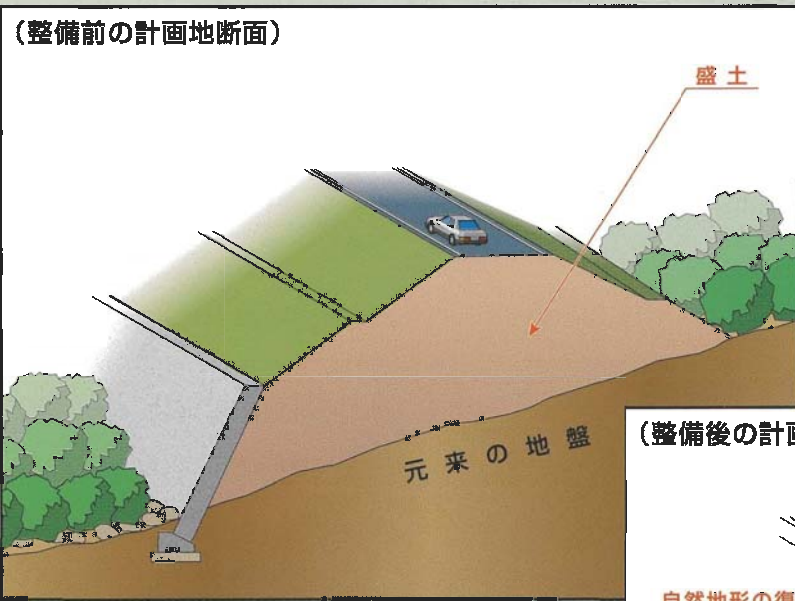


## 仲間橋

天然記念物イリオモテヤマネコの1日の生活を、4つの親柱の中で表情豊かに再現している。

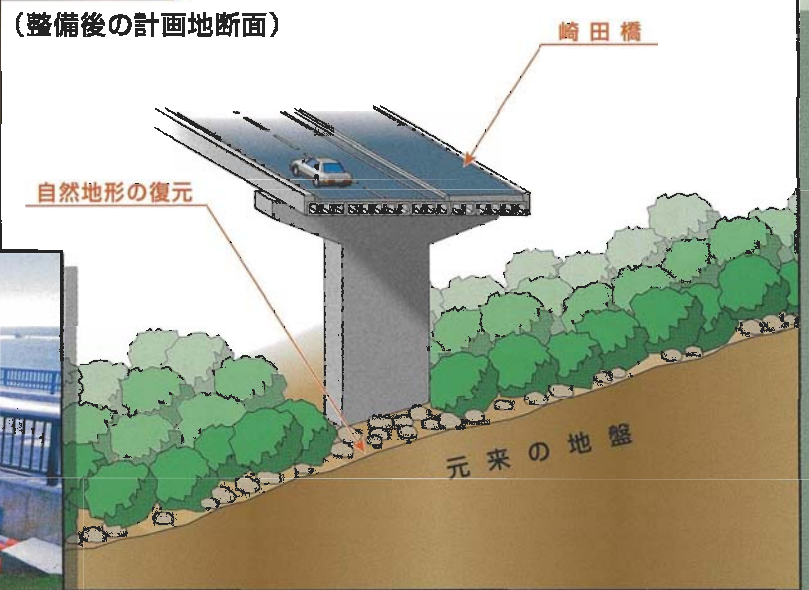
エコロード事業の支援事業として、「ふるさと愛橋ロード」の名の下にロードパークの設置、並びに親柱のデザイン化等を行ない、道路上のアクセントとします。これらの事業を通して、地域住民および観光客に親しまれる路線の創造を目指します。

親柱のデザイン



崎田橋の計画位置付近では、イリオモテヤマネコの目撃情報および交通事故が多く、また既設の盛土や擁壁は動物移動阻害などの問題が指摘されています。

そこで、ここに高架橋を整備し、盛土部分を撤去して元来の地形を復元することにより、動物の交通事故を防止し、また道路による動物行動圏の分断を回避します。



(施工完了後の崎田橋)

青い海と珊瑚礁を守るために

開発工事などにより、むき出しにされた裸地面から赤土が川や海に流れ込む……。この赤土流出は、沖縄の美しい珊瑚礁に甚大な被害を及ぼしています。そこで平成7年度より、沖縄県では行政・県民・事業

赤土等流出防止対策

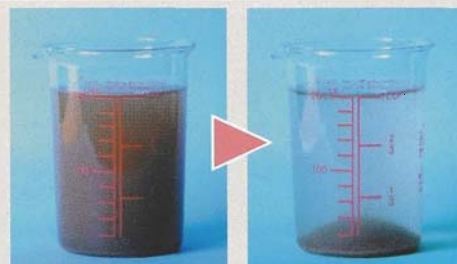
者が一体となり、自然環境を考え、保護していくことに乗り出しました。

この白浜南風見線の整備事業においても、赤土等流出防止のため諸々の対策を実施しています。

■赤土流出防止装置による、高度な赤土処理



赤土流出防止装置

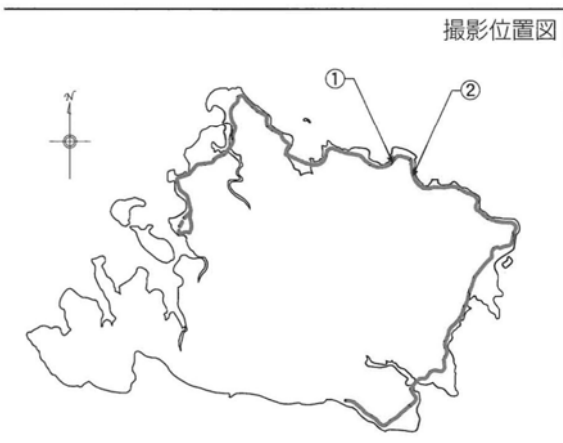


処理前の赤土濁水  
(透視度5000PPM以上)

処理後の赤土濁水  
(透視度200PPM以下)

■播種導入によって裸地を被覆し、高木類が回復した法面





発行

1997年1月初版  
2000年3月改訂版

発行所

沖縄県八重山土木事務所  
沖縄県石垣市字真栄里438-1  
電話：09808-2-2217

制作

株式会社 沖縄構造設計  
沖縄県宜野湾市伊佐2-12-1  
電話：098-890-2234

写真協力

湊 和 雄  
横塚 眞己人